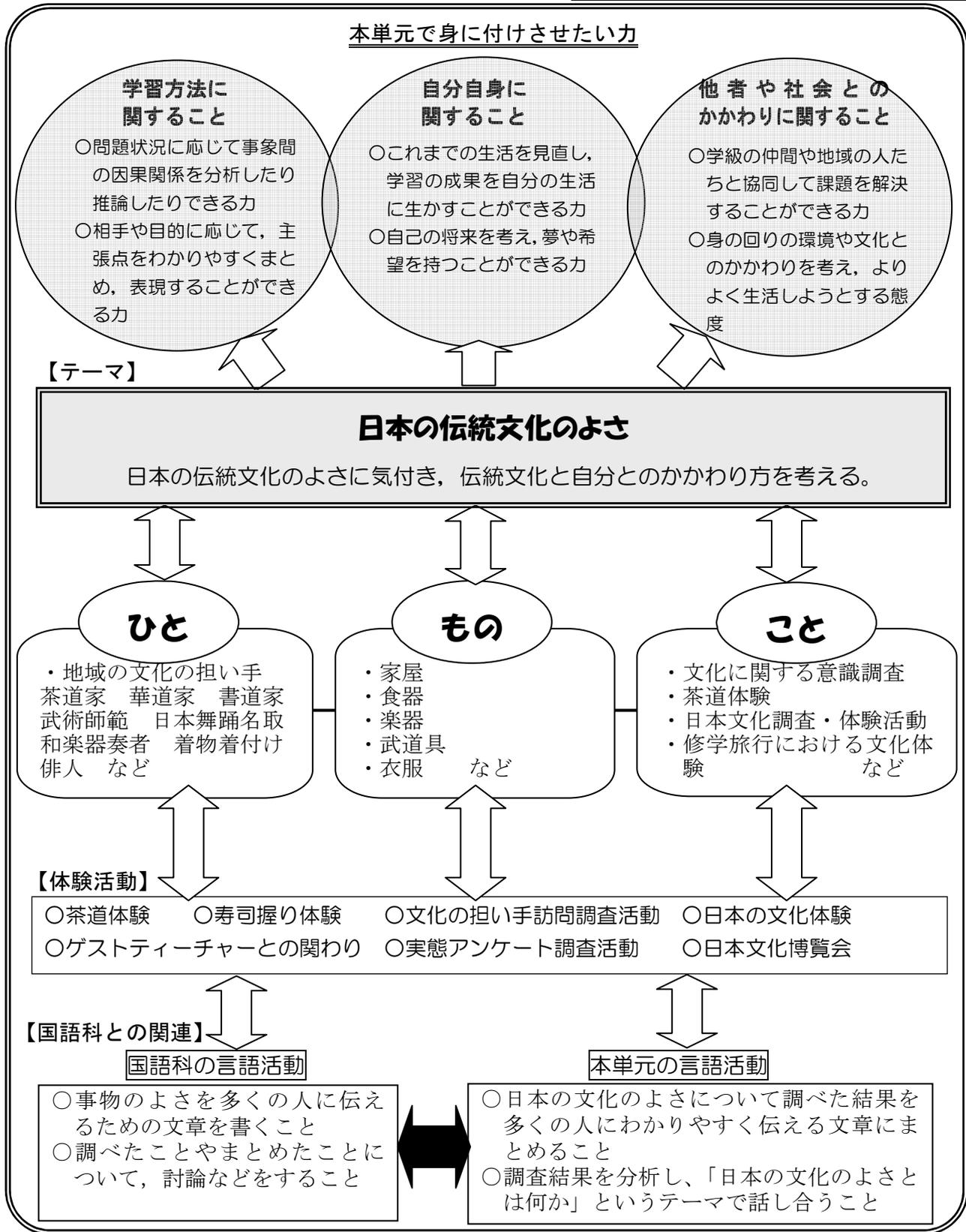


学年	単元名	児童	場所	指導者
6年	ぼくらは日本の文化調査隊	朝日小学校 6年1組 39名	6年1組教室	野上大輔

1 単元で身に付けさせたい力と学習対象の関連図……【研究視点1 旭川を見つめ学びを創造する学習対象の吟味】



2 単元について

(1) 教材化にあたって

子どもたちは普段の生活において「伝統文化」を自分にとって身近なものとしてとらえてはいない。むしろ自分とは少し離れた存在と感じている。先人たちが受け継いできた日本の伝統文化には日本独自の精神や哲学が内在されている。実は子どもたちの身近なところにも日本の伝統文化は脈々と受け継がれているのである。

伝統文化と呼ばれる文化は、長い年月の中で出来るだけ原型をとどめるように先人たちが努力を重ねてきた結果、受け継がれたものだといえる。そのため、現代の風潮にそぐわない側面も見られるが、現代まで残されてきたものの中には「伝統を受け継ぐこと」の尊さを感じさせる文化が多いのも一つの特徴であるといえる。人によっては「文化や芸能は役に立たない」「一部の人のためのもの」という考え方をすることがあるが、人間の社会を円滑に動かす上で文化や芸能は大きな役割を担っていると言える。文化がなければ人類は今も原始的な社会生活を営み、芸能がなければ感情の発露が充分になされない閉鎖的な社会を構築していたことだろう。文化や芸能とは、人間らしく生きていく上で欠かせないものであり生み出されていくべきものである。

そこで、本単元では、地域にいる伝統文化の担い手の方々とのかかわりを通して、子どもたちの日本の伝統文化に対する見方や考え方の高まりを期待して教材化した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は日本の伝統文化について、「古くから伝わっていること」「祭事」「歴史にかかわること」など比較的大きな枠組みでとらえている。しかし、具体的にどんなものが考えられるかと問われると、事前調査の結果からもわかるように「和風なもの」「お祭り」「和食」などを挙げる児童が多く、「茶道」や「華道」を挙げた児童についても名前を知っている程度で自ら体験するなどの経験は乏しく、現代に受け継がれている伝統文化について深く意識をしている様子は見受けられない。

自国の文化に深く興味を抱いたり、礼儀を重んじるなどの日本文化が本来もっている意義に気付いたりしている児童もほとんどいない実態である。

学習のスタイルとしては、人とかかわって聞き取り調査をしたり、体験したりすることを好む児童が多く、これまでの総合的な学習の経験から「為すことによって学ぶこと」「体験からの気付きの大切さ」を自覚できるようになってきている。

(3) 指導について

本単元では、日本の文化に興味・関心をもたせるとともに、自分なりの観点を定めて日本の文化について調査する活動を通して、文化に対する気付きを深めさせたり、文化に対する見方・考え方を確かにさせたりしていく。そのために、自分たちの見つけた日本文化のよさについて交流しあう場を設定し、友達の発表からも見方・考え方を広げて行けるようにしていく。

また、調査した結果を自分なりの観点到照らし合わせながら整理・分析する過程を大切にす探求的な学びのスタイルをしっかりと身に付けさせることも重視する。単元の学習全体を通して日本の文化について深く思いをめぐらせ、一人の日本人として自国の文化を未来にどうつなげていくかまで考えていけるようにさせたい。

3 単元の目標

- 日本の伝統文化について関心をもち、関心のある文化を調査したり、体験したりすることで、日本の文化のよさに気付くことができる。
- 文化の担い手の方々を共感的に理解しながら、日本の文化に対する見方・考え方を深めるとともに、日本人としての自覚や誇りをもち、伝統文化とのかかわり方を考えることができる。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

テーマへの興味・関心	学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会へのかかわりに関すること
<ul style="list-style-type: none"> ○日本の文化に関心をもち、日本の文化について調査したり体験したりしようとする。 ○日本の文化に対する自分なりの見方や考え方をもち、自分の生活に生かす方法を考えたり、友達と交流したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の関心のある日本の文化のよさについて必要な情報を収集し、その文化のよさを見いだす。 ○「日本文化のよさ」交流会を通して、自分の調査した日本文化のよさと友達の調査した日本文化のよさを比較し、その共通点や相違点を見いだす。 ○整理・分析した調査結果をもとに、主張点ははっきりとさせた表現活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の文化のよさを今の自分の生活や大人になってからの自分の生活に生かす方法を自分なりに考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の解決に向けて、自分の関心のある日本の文化を愛し、大切にしている人に会い、話を聞いたり体験したりする。 ○自分なりに見いだした日本の文化のよさと自分との関わりに気付くとともに、自分の生活や生き方に生かす方法を考えることができる。

(2) 学習活動における具体的評価規準

単元(次)	テーマへの興味・関心	学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会へのかかわりに関すること
第1次 ⑨	○日本のよさや日本の文化について考えようとしている。	○茶道体験を通して感じた日本文化のよさについて整理・分析し、表現することができる。	-	○日本の文化のよさを見いだすために課題意識をもって茶道体験に取り組むことができる。
第2次 ⑮	○日本の文化に関心をもち、日本の文化のよさを見つけたり、調査しようとしたりする。	○具体的な体験を通じた調査活動で情報を収集し、観点を定めた整理・分析を行うことができる。	○日本文化と自分とのかかわりについて気付いている。	○日本文化の担い手の人と直接かかわり、日本文化のよさについて深く考えることができる。
第3次 ⑪	○日本文化に対する自分のこれからのかかわり方を考えようとしている。	○「日本文化博覧会」開催に向けて、事前の計画から、実行まで見通しをもって活動を進めることができる。	○日本の文化に対する自分の見方・考え方を深め、これからの生活に生かす方法を考えようとしている。	○地域の人や外国の方とかかわり、自分が考える日本文化のよさをしっかりと表現することができる。

5 単元の展開 (全35時間) ……

【研究視点2 探究的な活動を重視する単元構成の工夫】

次	過程	○主な学習活動	◇教師の働きかけ・☆評価
第 一 次	【課題の設定】	○事前調査 ① 日本や日本の文化に対する一人一人のイメージや学習に対する考え方を見取る。	◇「文化」に対する児童の意識をさぐるため実態調査を実施する。
		○「日本のよさ」や「日本の文化」について考えさせ、関心をもつ。 ① ・「日本のよさって何？」 ・「日本独特の文化って何だろう？」 ※【道徳】「日本のたから」(内容項目4-7 愛国心)を通して、日本の文化や伝統を大切に、先人の努力を知ると共に、日本の国を愛そうとする心情を深める。 ・岡倉天心やフェノロサは、どんな考えから日本のたからである仏像や仏具を守ろうとしたのかを考え今までの自分は日本や日本の文化についてどう思っていたか考える。	☆日本のよさや日本の文化について考えようとしている。 ☆自国の文化を守ろうとする先人の生き方に触れさせることで自分の文化への見方・考え方の現状に気づかせる。
⑨	【情報の収集】 【整理・分析】 【まとめ・表現】 【課題の設定】	茶道を体験して日本の文化の良さを見つけよう!	
		○日本の文化について、より関心を深めるため保護者や地域の方々の協力を得て、全員で「茶道」を体験する。 ③ ○全員で体験することで茶道のよさや日本の文化について関心を持つ。	◇日本文化のよさを探るという意識を持たせ、茶道体験に浸らせる。 ◇日本の文化のよさを見いだすために課題意識をもつて茶道体験に取り組むことができる。
		○道徳や茶道体験の気づきを整理し、【日本の文化のよさ】についての自分なりの考えを明らかにし、自分の気づきに対する自己評価をする。 ② ・礼儀正しいこと ・おもてなしの心 ・相手を気遣う心配り ・美しさ	◇茶道と日本文化の関連図を作成させ、日本文化のよさを整理させる。 ☆茶道体験を通して感じた日本文化のよさについて整理・分析し、表現することができる。 ☆道徳や茶道体験を通して、日本文化のよさについて気付くことができる。
		○互いが感じた日本文化の良さを交流し、共通点や相違点を見いだす。また、それらの良さ自分との関わりを振り返り、この後の学習についての意欲をもつ。 ②	
		茶道で大切にされる、礼儀や相手への心づかいなどが日本文化のよさだ。	
		・他の日本文化でも同じことが言えるのか ・他にも日本文化の良さはあるのではないか	
		「日本の文化調査隊」を結成し、調べたり体験したりして、日本文化のよさを見つけ出そう!	
第 二 次	【課題の設定】	○茶道と文化の関連図をもとに仮説を立て、学習課題を設定する。 ① ・自分が調査してみたい文化の対象を考える。 ・茶道体験を想起しながら、対象文化の良さを予想する。	◇茶道で自分が関連付けた日本文化のよさのように他の伝統文化からも新たな発見を生み出そうという意欲を喚起する。

<p>第 二 次</p> <p>⑮</p>	<p>【情報の収集】</p> <p>【整理・分析】</p> <p>【まとめ・表現】</p> <p>【整理・分析】</p> <p>【まとめ・表現】</p>	<p>○自己の学習プランを立てたうえで、関心のある日本の文化別の調査隊を組織し互いの交流を重ねながら学習計画を確かなものにしていく。 ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」それを調べたいのか ・「どんなこと」を調べたいのか ・その文化の良さとは何か（仮説） ・「まとめ」をどのようにするか <p>○関心がある文化を教えてください、体験させていただけたりするような地域の方を探す。 ②</p> <p>○地域の文化の担い手の方々と関わり、関心のある文化について調べたり、体験したりする。 ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査隊を結成し、文化の担い手の方を訪問する。「華道」「書道」「剣道」「柔道」「お琴」「三味線」「日本舞踊」「着付け」「和菓子」「俳句」など <p>○修学旅行での「寿司握り体験」などでも聞き取り調査を実施する。 ①</p> <p>○調査・体験したことをもとに日本文化のよさについて整理する。 ①</p> <p>○茶道体験などとの比較をしながら、日本文化の良さについて自分なりの考えをもち、「日本の文化新聞」としてまとめ、学習の成果を自己評価する。 ③</p> <p>○「日本の文化調査交流会」を行う。 ② 【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが調べた文化の良さを発表し合ったり、友達の調べた他の文化のよさと比較したりすることで日本の文化に対する見方・考え方を深めたり広げたりする。 	<p>◇学習計画表を準備し、課題解決に向けての見通しを明らかにさせる。</p> <p>◇地域の人材マップや保護者への聞き取りを元に広く情報を収集させ、地域に住む日本文化の担い手を探させる。</p> <p>◇聞き取りや体験などの依頼も出来るだけ児童の手で行わせる。</p> <p>◇修学旅行での研修も情報収集の場として押さえる。</p> <p>☆日本文化に関心をもち、具体的な体験を通じた調査活動で情報を収集することができる。</p> <p>☆具体的にかかわった文化の担い手から日本文化の良さを学び取ることができた。</p> <p>◇調査したことを自分なりに整理し、観点に沿って必要な情報を付加できるようにする。</p> <p>◇一人一人が自分なりの分析を加えた「日本の文化新聞」をまとめられるように個別指導を行う。</p> <p>◇【日本文化のよさとは】というテーマを設定し、自分の体験を根拠に話し合わせる。</p> <p>☆調査や考えの交流を通して日本文化に対する見方・考え方を深めることができる。</p>
<p>日本文化のよさは、礼儀や相手への心づかいがその奥底に流れていることだと思う。また、自然や季節を大切にしているなど大昔の人々から受け継がれてきた日本人らしい考え方があるということがわかった。</p>			
<p>第 三 次</p> <p>⑩</p>	<p>【課題の設定】</p> <p>【情報の収集】</p>	<p>○調査してわかった日本の文化のよさと自分たちの生活とを比較して、これからも生かし引き継いでいくべきことについて話し合う。 ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化のよさを知らない人が多いのではないか ・普段の生活から相手への心配りをもつべきだ。 ・外国の人にも日本文化のよさを知らせよう。 <p style="text-align: center;">日本文化博覧会を開いて、日本文化の良さを多くの人に伝えよう。</p> <p>○日本文化博覧会を開催する計画を立てる。 ④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に自分たちが紹介できそうな日本の伝統文化を選択する。 ・日本文化を紹介する地域や外国の方を探す。 ・博覧会の準備を進める。 	<p>◇自分たちの見つけた日本文化のよさを自分たちの暮らしとどうつなげていけるか考えさせる。</p> <p>☆日本文化に対する自分のこれからのかかわり方を考えることができた。</p> <p>◇意図的にALTとも出会わせる工夫を行う。</p> <p>◇自分たちの調べた日本文化の中で実際に体験できそうなものを選び、博覧会として広く発信できるような企画を考えさせる。</p>

第 三 次 ⑪	【まとめ・表現】 【整理・分析】	<p>○地域や外国の方を招待し、日本文化のよさを紹介するために【日本文化博覧会】を開催する。 ②</p> <p>○これまでの学習を振り返って、もう一度日本の文化について考える。 ②</p> <p>○学習のまとめを行い、学習の自己評価をする。 ①</p>	<p>◇招待する人たちにどんなことを感じ取ってもらいたいのか、自分たちが担い手となって伝えられるような博覧会にさせる。</p> <p>☆計画から実行まで見通しをもつた「博覧会」の運営を行うことができた。</p> <p>◇単元全体を振り返って、【日本の文化と私】というテーマでノートに振り返りを行わせる。</p> <p>☆日本文化のよさを多くの人に伝えることを通して、日本の文化に対する自分の見方・考え方を広げ、深めることができた。</p> <p>◇それぞれの考えや新たな課題を交流し、学習を終える。</p>
----------------------	---------------------	--	---

6 研究との関わり

(1) 日本の伝統文化にかかわる地域の「ひと・もの・こと」を吟味する ……【研究視点1】

校区にいる日本文化の担い手の想い

本単元は、学習指導要領に明示されている「地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動」を具体化したものである。

子どもたちの日常生活の中にも日本の伝統・文化やその精神・哲学は脈々と受け継がれている。そういった日本の伝統・文化を理解し大切にする教育は、従来、日常生活の具体的な時と場に即して行われてきた。しかし、時代の変化とともに、家庭や地域社会において子どもたちが伝統・文化について理解したり経験したりする機会は減ってきているのが現状である。

子どもたちが日本の伝統文化の価値を学ぶためには、具体的な体験が必要である。そこで、日本文化とかわりの深い『校区に存在する「ひと・もの・こと」』という視点で学習対象を吟味した。地域には茶道教室、華道教室などを開いて文化を伝承している方、剣道・柔道などの武道を通して「心・技・体」の鍛錬を指導している方、近隣の学校で和楽器の講師をし、文化教育に携わっている方など数多くの「日本文化の担い手」が存在している。そういった人々を、実際に訪問し、体験を通じた調査ができれば、日本の伝統文化の価値を十分感じさせることができるはずである。

国際社会を生き抜くために、自国の文化理解を深めさせる。

また、『子どもの日常生活や社会とのつながりが強い』という視点でも学習対象を吟味している。国際化がますます進展する中、子供たちが国際社会に貢献し、世界の人々から信頼される日本人となるためには、異文化に対する理解を深め、異なる文化をもつ人々と協調していく態度を育む必要がある。しかし、その異文化を大切にしようとする心は、自国の文化理解が基盤となって育まれるものであることを忘れてはならない。そのために、子どもたちが伝統・文化のよさに気づき、その価値や意義を理解することは、自分の生まれ育った郷土や自国に誇りと愛着をもち、自分が日本人であるというアイデンティティを確立することにつながると考えている。

(2) 整理分析の過程を重視した単元構成の工夫 …………… **【研究視点2】**

子どもの思考を連続させるための、整理、分析の過程の重視

本単元では、子どもたちが、学習活動に価値を見だし、自分ごととして本気で学習に取り組んでいけるよう、探究のサイクルを強く意識して単元を構成している。『文化』というテーマからぶれることなく学習を連続させるためにも、課題が子どもの思考の流れに沿って更新されるように体験を軸とするとともに、調査活動後の【整理・分析】の過程を重視し単元を構成した。

子どもの文化観を深めるために、文化の担い手とかかわる学びの意図的な設定

また、探究的な学びを支える一つの要素に協同的に学ぶことがあげられる。協同的な学びの場は目的に応じて多種多様な場面が考えられるが、本単元では、大きく2つの協同的な学びの場を設定している。

第1に、文化の価値を体感するために『校区にいる文化の担い手』の方と直接かかわって学ぶ場面を繰り返し設定する。かかわる相手は違っても様々な文化の担い手とかかわって学ぶことで、担い手の方々の文化に対する思いや考えにふれることができ、自分の調査した文化に対する見方・考え方を深めていくきっかけとなるはずである。

自分の文化に対する見方・考え方を広げるために調査結果の交流を重視

第2に、自分の考えを広げるために、友と意見交流を行う場面を調査終了後に設定する。子どもたちは、個の課題に沿って調査した結果をしっかりと整理・分析をし、自分の考えを明らかにしていく。それぞれが導き出した考えを必ず交流する場面を設定することで自分の考えと友の考えを比較したり、関連付けたりすることができる。このことにより文化に対する見方・考え方により広がりをもたせることができるはずである。

(3) 意見の比較・類型化による学び合いを活性化させる指導方法の工夫 …… **【研究視点3】**

調査結果をもとにした関連図の作成

本時では、個の課題ごとに整理・分析を行った「日本文化のよさ」についての主張をもとにした学び合いが展開される。

本単元のテーマである文化についての調査情報は、数値化したり、データ化したりできるものではなく、子どもが自分の体験や聞き取り調査によって収集してきた主観的な情報であることが予想される。おそらく言語化された情報をもとにして子どもたちは、課題解決の糸口を探るはずである。この時の分析は、比較・類推・関連付けなどの考えが中心となる。前時の段階で課題にかかわる関連図を作成させたり、これまでの体験と比較させたりする分析を丁寧に行わせることにより、課題解決に向けた自分の考えが明らかとなる。明らかになった個の考えを教師の発問を工夫することで学び合いをより活性化することができると考えている。

学び合いを活性化させる発問の工夫

また、これまでの課題追究を通して導き出した、自分たちなりの「日本文化のよさ」を結論付ける場面では、これまで調査・追究に協力していただいた方をゲストティーチャーとして招き、子どもたちの話合いの姿を見ていただく。最後にはゲストティーチャーからの評価をいただく場面を設定する。文化の担い手の立場として、子どもたちが見いだした「日本文化のよさ」へのコメントをいただくことにより子どもたちは自分たちが学んできたことの成果を第三者の言葉で実感することができるはずである。

学びの成果を実感させる、他者評価の効果的な活用

7 本時の授業

(1) 本時の目標

- 「日本文化のよさ」について話し合い、文化に対する自分の見方や考え方を広げることができる。
【探究的な学習への関心・意欲・態度、自分自身について】

(2) 本時の展開 (24 / 35)

主な学習活動	□教師の働きかけ◆評価☆研究とのかかわり
○課題の確認をする。	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 日本の文化調査隊の調査結果をもとに、日本文化のよさを見つけよう！ </div>	
<p>○各調査グループの体験の様子を映像で振り返る。</p> <p>○日本文化のよさについて根拠を明らかにしながら、自分の考えを表現し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀を重んじること ・ 心を形で表すこと ・ 季節や自然を大切にすること ・ 相手を思いやる心 ・ 美しさを表現すること etc <p>○それぞれの意見の共通点や相違点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの日本文化も礼儀がしっかりしている ・ 自然との関係がある ・ 感謝の気持ちが表されている ・ 相手との関係を大切にすること ・ 一つ一つに意味やこだわりがある ・ 言葉に出さなくても伝わる <p>○日本文化のよさについて、自分なりのまとめを行う。</p> <p>○日本文化のよさについてのまとめを行う。</p>	<p>□各調査グループの体験の様子を映像(画像)で振り返る。</p> <p>□今日はみなさんの調査結果をもとに【日本の文化よさ】について話し合います。みなさんが見つけ出した日本文化のよさとはどんなものでしたか？</p> <p>☆関連図を生かした学び合いの工夫 …【研究視点3】</p> <p>□それぞれの体験はちがうけれど、何か共通点や相違点を見つけることはできませんか？</p> <p>☆学び合いを活性化させる発問の工夫 …【研究視点3】</p> <p>◆今日の話し合いを通して、自分が考える【日本の文化のよさ】についてもう一度ノートにまとめる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 日本文化のよさは、礼儀や相手への心づかいがその奥底に流れていることだと思う。 また、自然や季節を大切にしていることもそことつながりがあるといえる。 </div>	
○ゲストティーチャーからの感想を聞く。	<p>□子どもたちの話合いや日本文化のよさについての結論について、コメントや評価をいただく。</p> <p>☆学びの成果を実感させる評価の工夫 …【研究視点3】</p>

(3) 本時の評価規準

◇ 評価規準の具体 (評価方法～発言・学習ノート)	
(A) 十分満足できる	仲間の発言と自分の考えを比較しながら共通点や相違点を見だし、日本文化についてより深いとらえ方をすることができる。
(B) おおむね満足できる	仲間との学び合いをもとに、日本の文化のよさについての考え方を広げたり、深めたりできる。
* 努力を要する児童への指導	友達の意見を参考にしながら日本文化のよさについて自分なりの考えをもてるようにさせる。